

令和2年度文化に関する府民意識調査

【基礎データ】

- ① 性別 (男・女)
- ② 年齢階層 (10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代)
- ③ 住居地域 (市町村名選択)

【府民の現状】

- ④ あなたは、この1年間で以下のいずれかの活動をされましたか。(複数回答可)
 - (1) ホール、映画館、美術館等で、音楽・映画・芸能・美術等を直接鑑賞した
 - (2) 作品の創作や習い事の受講、地域催事への参加など、文化に関わる活動をした
 - (3) (1)の直接鑑賞(2)の活動ともに行っていない
 - (4) 有料のオンライン配信(レンタルやサブスク、テレビ放送等は除く)
- ⑤ ④で(1)とお答えした方にお聞きします。それはどのような内容ですか。(複数回答可)
 - (1) ポップス、管弦楽、室内楽、民謡、長唄、オペラ、オーケストラ、吹奏楽等の音楽
 - (2) 絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真等の美術
 - (3) 現代劇、人形劇、ミュージカル等の演劇
 - (4) バレエ、ダンス等の舞踊
 - (5) 映画(アニメーションを除く)
 - (6) 漫画、アニメーション、映像を活用したアート等のメディア芸術
 - (7) 能、狂言、歌舞伎、日本舞踊等の日本の伝統芸能
 - (8) 落語、漫談、神楽、民俗芸能等の芸能
 - (9) 華道、茶道、書道、盆栽等の生活文化
 - (10) 歴史的な建築や遺跡の見学(建造物、名勝地(庭園など)の文化財)
 - (11) その他(自由記述)
- ⑥ ④で(1)とお答えした方にお聞きします。それはどのくらいの頻度ですか。
 - (1) ほぼ毎日
 - (2) 週に1~2回程度
 - (3) 月に1~2回程度
 - (4) 年に数回程度
- ⑦ ④で(1)とお答えした方にお聞きします。それには1年間でどのくらいの金額を費やしましたか。
 - (1) お金を使っていない
 - (2) 5千円未満
 - (3) 5千円以上3万円未満
 - (4) 3万円以上
- ⑧ ④で(1)とお答えした方にお聞きします。文化施設や催しを訪れる際は、家族や友人に紹介したり、一緒に鑑賞するために誘ったりしますか。
 - (1) 必ず、紹介したり誘ったりする
 - (2) よく、紹介したり誘ったりする
 - (3) 時々、紹介したり誘ったりする
 - (4) 全く、紹介したり誘ったりしない
- ⑨ ④で(2)とお答えした方にお聞きします。それはどのような内容ですか。(複数回答可)
 - (1) 文学、音楽、美術、演劇、舞踊、映画等の創作・参加
 - (2) 音楽、舞踊、華道、茶道、書道等の習い事
 - (3) 地域の芸能や祭りへの参加

- (4) 子どもの文化芸術体験のための支援活動
- (5) 文化施設（ホール、劇場、美術館、博物館等）における支援活動
- (6) 文化的行事（音楽祭、演劇祭、映画祭等）開催の支援活動
- (7) 歴史的な建物や遺跡等を保存・活用する支援活動
- (8) その他

⑩ ④で（2）とお答えした方にお聞きします。それはどのくらいの頻度ですか。

- (1) ほぼ毎日
- (2) 週に1～2回程度
- (3) 月に1～2回程度
- (4) 年に数回程度

⑪ ④で（2）とお答えした方にお聞きします。それには1年間でどのくらいの金額を費やしましたか。

- (1) お金を使っていない
- (2) 5千円未満
- (3) 5千円以上3万円未満
- (4) 3万円以上

⑫ ④で（3）とお答えした方にお聞きします。あなたが、文化と関わりを持ちにくい理由は何ですか。

- (1) 関心がない
- (2) 時間がとれない
- (3) 費用がかかる
- (4) 近くで魅力ある公演や展示会等が開催していない
- (5) その他（自由記述）

⑬ 今後、取り組んでみたい文化活動（鑑賞を除く）は何ですか。

- (1) 文学（詩、俳句、短歌、小説等）
- (2) 音楽（ポップス、管弦楽、室内楽、民謡、長唄、オペラ、オーケストラ、吹奏楽等）
- (3) 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真等）
- (4) 演劇（現代劇、人形劇、ミュージカル等）
- (5) 舞踊（バレエ、ダンス等）
- (6) メディア芸術（漫画、アニメーション等）
- (7) 日本の伝統芸能（能、狂言、歌舞伎、日本舞踊等）
- (8) 芸能（落語、漫談、神楽、民俗芸能等）
- (9) 生活文化（茶道、華道、書道、着付け等）
- (10) 地域の芸能や祭りへの参加
- (11) 支援活動（子どもの文化体験、文化的行事、文化施設、建物や遺跡等の保存・活用等）
- (12) その他（自由記述）
- (13) 取り組みたいとは思わない

⑭ あなたは、子どもが文化に親しむために、何が必要だと思いますか。（複数回答可）

- (1) 学校における公演などの鑑賞体験を充実させる
- (2) 学校における演劇などの創作体験を充実させる
- (3) 音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事の機会を充実させる
- (4) ホール、劇場、美術館、博物館など地域の文化施設における、子ども向けの鑑賞機会や学習機会を充実させる
- (5) 音楽祭や演劇祭など、地域で文化的行事を開催し、文化芸術に親しむきっかけを提供する
- (6) 地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供する
- (7) 歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実させる
- (8) その他（自由記述）

- ⑮ あなたの住んでいる地域には、残したい地域の宝（文化財、祭、食、風習、風景等）はありますか。
（1）ある （2）ない
- ⑯ ⑮で（1）とお答えした方にお聞きします。それはどのようなものですか。（自由記述）
- ⑰ あなたは、文化を鑑賞したり、習い事をしたりする機会や文化財・伝統的な町並みの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に満足しておられますか。
（1）満足している
（2）どちらかといえば満足している
（3）どちらかといえば満足していない
（4）満足していない
- ⑱ ⑰の回答について、その理由をお答えください。（自由記述）
- ⑲ この1年間、作家やアーティストの作品（美術品、工芸品等）を購入したことがありますか。
（1）ある （2）ない
- ⑳ ⑲で（1）とお答えした方にお聞きします。それは1年間でどのくらいの金額ですか。
（1）1万円未満
（2）1万円以上5万円未満
（3）その他（自由記述）
- ㉑ 平成29年の文化芸術基本法の改正により文化政策の対象が拡大され、「食文化」が新たに茶道、華道、書道と並ぶ生活文化として位置づけられました。
あなたは、日本の食文化を守り伝えるために、何に取り組んでいけばよいと思われますか。（自由記述）

【京都府の文化行政】

- ㉒ 京都府は、お住まいの地域の文化的環境を充実させるために、何に取り組む必要があると思いますか。
（複数回答可）
- （1） ホール、劇場、美術館、博物館などの文化施設の充実
 - （2） 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
 - （3） 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
 - （4） 歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進
 - （5） 芸術家や文化団体の活動の支援
 - （6） 文化施設や文化事業における地域在住の芸術家の作品の積極活用
 - （7） ワークショップなどを通じて地域在住の芸術家と直接接する機会の充実
 - （8） 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実
 - （9） 著名な芸術家の招へい
 - （10） その他（自由記述）

～御協力ありがとうございました～